

第55回糖尿病研究会

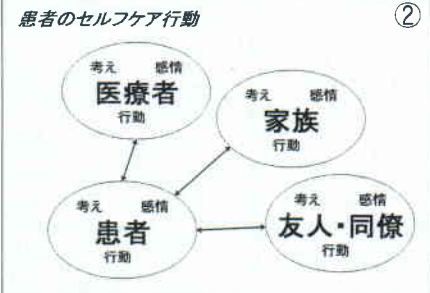
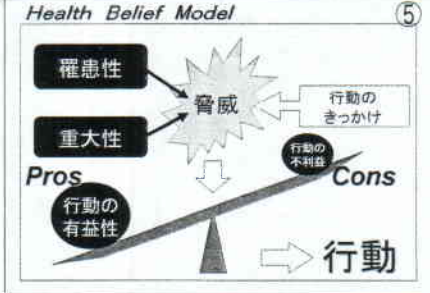
糖尿病診療における心理社会的アプローチ  
 ～教育心理学と行動医学を臨床に生かす～



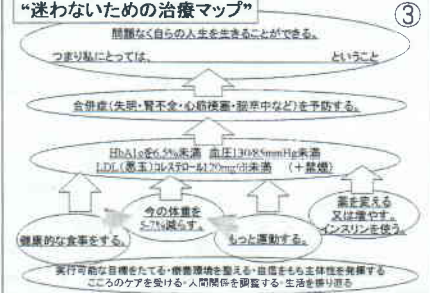
中野智紀氏  
 四月二十七日、大宮、カルアライアンス東埼玉  
 ニックシティにて第五十五 総合病院 地域糖尿病セ  
 ンター。 回糖尿病研究会を開催  
 し、三十九人が参加した。 講演では「糖尿病は、  
 医師は中野智紀氏(社会 治療の九八%が患者自身  
 医療法人シャパンメイト によって行われており、  
 患者の心理や患者をとり 進、教育心理学や行動医  
 学を用いたアプローチの 実際について解説した。  
 動に影響を与える事がわ かつている」として、糖 (左記は、講演スライド  
 から抜粋)



① 98%  
 糖尿病治療の98%が患者自身によって行われている。  
 Joslin's diabetes



⑥ 当院糖尿病教育プログラム  
 ～行動変容～  
 動機付け面接  
 Motivational Interview  
 Muller et al. 1991  
 Smith et al. 1997  
 +  
 生きがい連結法  
 +  
 自己決定理論



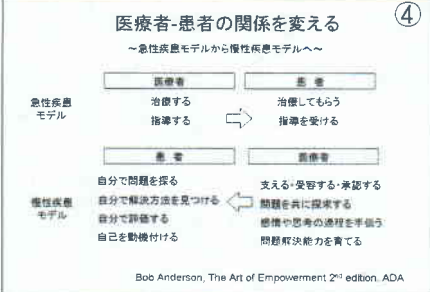
⑦ 人生における優先順位(例)

1位 糖尿病 治療	2位 家族	3位 仕事	4位 遊び
-----------------	----------	----------	----------

×

1位 家族	2位 仕事	3位 遊び	4位 ???
----------	----------	----------	-----------

○  
糖尿病治療



⑧ 糖尿病大学スタッフからの手紙

「私達は、あなたの糖尿病という肩の荷を下ろしたり、あなたに代わって糖尿病の面倒をみる事ができればと願ってはいますが、残念ながら糖尿病治療においては、それは不可能なのです。糖尿病の管理や結果に対し責任を負うことは、あなたにしかできないことなのです。それは本当に辛いことだと思います。」

「しかし、私達の専門的知識や技術をみなさんの固有な問題に取り組むために用いたり、それぞれの患者さんの生活に最も良く合う糖尿病自己管理プランを立てたりする為に喜んで協力するつもりです。そしてなによりも、ともに糖尿病とともに生きていく困難に取り組んでいく糖尿病治療の良きパートナーでありたいと思っています。」